

---

1/100

輪廻

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

1 / 100

### 【Nコード】

N6733Y

### 【作者名】

輪廻

### 【あらすじ】

神に選ばれし100人。

全員にある力が授けられた……

主人公について　　〜何事も始まるまでのディテールが重要だと考える〜

主人公

神道しんどう  
幽鬼ゆうき

世界有数の財閥である神道グループ会長の一人息子

身体能力はほぼ皆無。友人に言わせれば本気でチワワと戦っても負けるらしい。

しかし学習面では素晴らしい成績を持ちそれ故か何でも多少でも出来れば応用し神域に達することができる

性格は悪劣非道を極めた者を演じようとしているが、基本的に正義感が溢れている

現在進行形で中2であり勿論中2病気味

ゲームやアニメには全く興味が無く基本的には何時も本を読んでい  
る

プロローグ ～正義とは犠牲と偽善の上に成り立つとふと思つて～（前書き）

これが第0話になるようなストーリーにする予定

プロローグ ～正義とは犠牲と偽善の上に成り立つとふと思つ～

a m 5 : 0 0

「何時も通り変わり映えのしない朝だ。」  
そんな事を呟きつつ俺は目覚めた。

a m 6 : 3 0

着替えが終わり朝食も食べ終わった。  
俺はテーブルを離れ部屋の外で待っているであろう執事に声をかけた。

「そろそろ時間だ車を出しておけ」

a m 7 : 0 0

俺を乗せたりムジンは問題なく最寄りの駅までたどり着いた。  
親父の命令で俺は今、社会活動の学習という名目において登校に電  
車を使う事を義務づけられている  
全く迷惑な事だが親父直々の命令である為断れないのが現実という  
物である

a m 7 : 3 0

ガキが一人ホームから落ちた  
恐らく混雑しているこの駅で群集に押されでもして落ちたのであろう  
「俺には関係は無い」  
そう言っただけ無視していたがとうとう電車が来てしまったようだ  
誰か助けてやれ

a m 7 : 3 1

まずい誰も助けず、誰も気づかず電車の到着を知らせるアナウンスが流れている

「助けなければ」

俺はそう呟いてホームから飛び降りた

a m 7 : 3 2

俺はガキを抱えあげ、ホームに投げあげた

制限、ホームに届いたらしく、上の群集からどよめきが聞こえた  
当然であろう

何も居ないはずの線路からガキが飛んできたのだ

驚かない訳が無い

それによるとよめきだろう

俺はそう思った

a m 7 : 3 2 : 3 0

違った

それに気付いた時にはATSつまり自動列車停止装置の働いた巨大な鉄の塊があと数cmのところまで来ていた

「これが、これこそが逃れようのな……」

グチャ

そんな音を駅に響かせながら、中2病な台詞を言い終わる前に俺は

……

a m 7 : 3 3

俺は馬鹿だった……

あんなガキの為に挽かれるとは挽き肉の様にグチャグチャで真っ赤  
な肉塊に成ってしまうとは……  
悔やんでも悔やみきれない  
だが最期に正義を成せて良かった

プロローグ ～正義とは犠牲と偽善の上に成り立つとふと思つて～（後書き）

神道 幽鬼

DEAD END



第一話 く大体バトルの一話はつまらない(あくまでも個人の感想です)く

短話でちやかちやか進めようと決意しました



「神よ彼に再び命の炎を灯したまえ」

「お前は神じゃ無いのかよ」

「さあ神道 幽鬼よ蘇れ」

「ちよつ待った説明くれ……」

重苦しい口調を捨ててまで言った願いは通じなかった

第一話 〱大体バトルの一話はつまらない(あくまでも個人の感想です)〱

神降臨

真偽は不明

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6733y/>

---

1/100

2011年11月20日20時27分発行